

あさひ議会だより

36号

平成27年
3月1日
発行



おもな内容

議案の内容と審査結果	2～4
第4回定例会の日程	3
主な議案質疑	4
平成27年第1回臨時会	4
一般質問	5～9
常任委員会の審査	10
行政視察報告	11
議長のうごき	12

第26回旭市飯岡しおさいマラソン大会
旭市産のいちごでランナーを「おもてなし」

障害者福祉費など

補正予算額2,470万円を可決、 平成26年度旭市一般会計 予算総額301億5,810万円

第4回定例会のあらまし

平成26年第4回定例会が、12月1日から12月17日までの17日間の会期で開かれました。

この定例会には、平成26年度一般会計補正予算、条例の制定や人事案件など12議案が市長より提出され、原案のとおり、可決・同意・承認されました。

なお、一般質問は12月8・9日の2日間の日程で行われ、9人の議員が登壇し市政全般にわたって議論が展開されました。

また、最終日の17日には、議員から1件の発議案が提出され、全員賛成で原案のとおり可決されました。

議案の内容と審査結果

補正予算

(平成26年度)

■議案第1号

平成26年度旭市一般会計補正予算の議決について (可決)

歳入歳出予算の総額に歳入歳

出それぞれ2,470万円を追加し、予算の総額を301億5,810万円とするものです。

歳入の主なものは、地域生活支援事業費補助金等の国庫補助金に1,625万4,000円、同じく地域生活支援費補助金の

県補助金293万6,000円、農業費寄付金の寄付金250万円を増額するものです。

歳出の主なものは、障害者福祉費の地域生活支援事業に1,179万9,000円、農業振興費の水田農業構造改革推進事業に337万2,000円、畜産振興費の家畜防疫対策事業に250万円を増額するものです。



第4回定例会の日程

12月1日(月) (開会)

- 会議録署名議員の指名
- 会期の決定
- 議案の上げ
- 提案理由の説明並びに政務報告
- 議案の補足説明

12月4日(木)

- 議案の質疑

◇追加日程

<討論・採決>

- 常任委員会へ議案を付託

12月8日(月)

- 市政に関する一般質問

12月9日(火)

- 市政に関する一般質問

12月11日(木)

- 建設経済常任委員会

12月12日(金)

- 文教福祉常任委員会

12月15日(月)

- 総務常任委員会

12月17日(水)

- 常任委員長の議案報告

<質疑・討論・採決>

◇追加日程

- 発議案上げ
- 提案理由の説明

<質疑・討論・採決>

- 事務報告
- ◇追加日程
- 議長辞職の件
- 議長選挙の件
- 副議長辞職の件
- 副議長選挙の件
- 議長報告事項

(閉会)



伊藤房代副議長



景山岩三郎議長

高橋利彦議長と平野忠作副議長の辞職に伴い12月17日の閉会日に、正副議長選挙が行われ議長に景山岩三郎議員、副議長に伊藤房代議員が選出されました。

議長に景山岩三郎議員
副議長に伊藤房代議員を
選出

委員等変更の
お知らせ

議会運営委員会

景山岩三郎議員の委員長
辞職に伴い、平成26年第4
回定例会において伊藤保議
員が委員長に就任し、島田
和雄議員が委員に就任しま
した。
新たな委員会構成は、次
のとおりです。

委員長	伊藤 保
副委員長	飯嶋 正利
委員	滑川 公英
委員	向後 悦世
委員	林 七巳
委員	島田 和雄

条例の制定・一部改正

■議案第2号

旭市議会議員の議員報酬及び旅
費等に関する条例の一部を改正
する条例の制定について(可決)

■議案第3号

旭市特別職の職員の給与に関す
る条例の一部を改正する条例の
制定について (可決)

■議案第4号

旭市教育委員会教育長の給与等
に関する条例の一部を改正する
条例の制定について (可決)

議案第2号から4号は一般職
の職員の給与改正にあわせて改
正するものです。

■議案第5号

旭市一般職の職員の給与に関す
る条例等の一部を改正する条例
の制定について (可決)

人事院勧告及び千葉県人事委
員会勧告の趣旨に基づき改正す
るものです。

■議案第6号

旭市国民健康保険条例の一部を
改正する条例の制定について
(可決)

出産育児一時金の支給額につ
いて改正するものです。

■議案第7号

旭市宮住宅の設置及び管理に関
する条例の一部を改正する条例
の制定について (可決)

神西住宅及び双葉団地の一部
を用途廃止するため所要の改正
を行うものです。

■議案第8号

旭市病院事業使用料及び手数料
条例の一部を改正する条例の制
定について (可決)

国における産科医療補償制度
の補償対象基準及び掛金等の見
直しに伴い、所要の改正を行う
ものです。

人事

■議案第9号

旭市教育委員会委員の任命につ
き同意を求めることについて
(同意)

新たに委員を任命するにあた
り、次の方が全員賛成で同意さ
れました。

新任 加藤尚美 氏 (口)

■議案第10・11号

人権擁護委員候補者の推薦につ
き意見を求めることについて
(同意)

現委員2名の任期が満了とな
るため、後任の委員候補者を法
務大臣に推薦するにあたり、議
会の意見を求めるものです。
次の方が全員賛成で同意され
ました。

再任 吉野直子 氏 (足川)
再任 宮野作一 氏 (夢田)

専決処分

■議案第12号

専決処分の承認について(平成26年度旭市一般会計補正予算)

(承認)

衆議院の解散に伴う選挙執行経費を先決処分したものです。

議員提出議案

■発議第1号

米価下落に対する緊急対策を求める意見書の提出について

(可決)

今年産の生産者米価は、想定外の下落になっているため、米価回復の諸対策を取ることに意見書を国へ提出するものです。

主な議案質疑

■議案第1号

平成26年度旭市一般会計補正予算の議決について

Q 企画費のコンサルティング業務委託料は、どのような業務を行うのか。また、業務の委託先は、広告宣伝的な機能であるのか、それとも法律等の資格を有する助言的な機能であるのかお尋ねします。

A 旭中央病院を、地方独立行政法人化するための定款や評価委員会条例に関する情報収集、先進地事例等の調査、助言等を、経営形態の移行に精通しているプロの目から行うための

(林 晴道議員)

Q 企画費のコンサルティング業務委託料に関しては、旭中央病院が地方独立行政法人化まで幾つもの議決や許可申請が必要であるとのこと、来年度以降もこの業務委託をするようになるのかお尋ねします。

(米本弥一郎議員)

A 先進地事例等では、独法化まで1年から1年半くらいを要しています。定款や評価委員会条例のほか、中期目標、中期計画の策定、財産評価や会計システムの開始など、さまざま

な取り組みが必要となり、来年度においても、コンサルティング業務委託を考えています。

■議案第8号

旭市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について

Q 分娩料に含まれていた産科医療補償制度の掛金3万円を分離することだが、改正後の金額の算出根拠をお尋ねします。

(米本弥一郎議員)

A 産科医療補償制度は平成21年1月に創設され、1分娩当たり3万円の保険料が、分娩料に加算されました。

今回掛金の見直しが実施され、平成27年1月から現在の3万円が1万6,000円に減額をされます。今後も掛金の変更が予想されることから、分娩料と掛金を分離し、分娩料から一律3万円の掛金を引き下げ、別途掛金を加算する改正を行うものです。分娩料自体の料金設定は、近隣の産科を有する医療機関の設定を参考にして、入院料、差額室料含めて、45万円から50万円程度になるように設定しています。

第1回臨時会

平成27年第1回臨時会が1月21日に開催されました。

この臨時会には、財産の無償貸付についての1議案が市長より提出され、可決されました。

議案の内容と審査結果

■議案第1号

財産の無償貸付について

(可決)

貸付期間を平成27年1月22日から平成41年3月31日までとして、旧食彩の宿いおか荘を無償で民間事業者へ貸し付けられるものです。

●無償貸付の相手先

香取市観音771番地9
株式会社 サンライト建設
代表取締役 齋藤孝良

主な議案質疑

■議案第1号

財産の無償貸付について

Q 初期の改装費用だけではなく、営業を継続していく中で今後付帯設備等が増加してい

くことも考えられます。契約の終了時を考えたときに、造作買取請求権を放棄するという内容が契約書の中に明記されるのか。

(高橋秀典議員)

A 市の顧問弁護士とも打ち合わせをし、契約書6条の中に造作買取請求権の放棄を明記させていただく予定で契約を考えています。

Q 駐車場内においてラーメン店を経営するということが、契約書の中で整合性はとれているのか。

(高橋秀典議員)

A 事業者が直接経営されるのは問題ないと思いますが、実施に際しては市と協議することとなっています。



7月開業予定の旧いおか荘

一般質問

市政に関する一般質問は12月8・9日の2日間行われ、9人の議員が登壇しました。
主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

新庁舎建設

候補地の選定経緯は

(林七巳議員)



新庁舎候補地の一つの文化の杜公園

Q 旭文化の杜公園は完成してまだわずかの年月にもかかわらず、どうしてそこへ新庁舎を建てるのか。補助金を返還してまで、そこにしなければならぬのか、ほかの場所は考えになかったのか。

A 市民会議において議論した結果、都市計画の変更手続きや公園整備に関して受けた補助金の一部返納、起債の一部繰り上げ償還といった課題は

あります。しかし、市の中心部にあり、市民の利便性も高い点、現公園施設が県の広域防災拠点及び市の広域避難場所として位置付けられており、防災機能も備わっていることから、庁舎が建設されることで防災拠点としての機能が高まり、公園機能もより向上する点を総合的に判断し、市民会議の方向性として、新庁舎の建設位置は旭文化の杜公園とすることが望ましいとの提言を受け、事務局としては国・県と協議を進めています。

跡地利用の計画は

(滑川公英議員)

Q 4つの候補地を検討してきましたが、旭市は東総地区有数の土地持ちの自治体です。跡地利用についてはどうするのか。解体して、更地にして遊休土地にするのか。新庁舎建設については、最初に跡地利用を明示するのが当然だと思うが。

A 学校、旭中央病院を除いた個別の施設については、平成23年8月に旭市公共施設の活用方針を作成してありますが、新庁舎建設に伴う施設等の再整備計画を考える場合には、全て

の公共施設を考慮に入れる必要があります。それにはまず新庁舎の位置が決まっていることが前提であったため、それまで明確ではありませんでした。

今後、跡地利用をどういう形で進めるかは、公共施設の総合管理計画の中でさらに方針として示していく必要があると思います。

旭中央病院

独法化に対する市長の考えは

(林七巳議員)

Q 独立行政法人化について、どうしてコンサルタント委託料100万円の予算を組んだのか。市長はどのように考えるのか。



総合病院国保旭中央病院

一般質問の質問事項
発言議員と質問事項を紹介いたします。



林 七巳
議員

- 1 新庁舎建設について
- 2 中央病院について
- 3 庁舎の分煙について
- 4 PCBについて



林 晴道
議員

- 1 環境対策について
- 2 東京ガス(株)千葉・鹿嶋ラインについて
- 3 公共事業の品質確保について
- 4 病院事業について



有田 恵子
議員

- 1 本庁舎における喫煙について
- 2 監査委員について
- 3 三川蛇園道路と蛇園南地区流末排水整備事業について

ていますか。

A 独法化の議論が始まってから2年半余り、結論が

検討委員会から出されて1年半以上過ぎました。その中で、体力がある今の時期に独立行政法人にしたほうがいいと結論に達したわけであります。そのため

に行政と病院で独法化にするための事務手続きや、クリアしなければならぬ問題をアドバイスしていただくということで予算を計上しました。

院外薬局の需要と供給は

(林晴道議員)

Q 薬を院外処方へ移行した場合、どここの調剤薬局に



旭中央病院内のお薬渡し窓口

おいても薬を受け取ることができようになります。

病院事業収支の改善と患者さんの利便性を一番に考え、早い時期に院外処方を実施すべきと思いますが、本市においての調剤薬局の需要と供給のつり合いについてお伺いします。

A 旭中央病院は現在一日1,200枚程度の処方箋を

作成しています。この9割、約1,000枚が院外処方へ移行することになります。

現在、病院の周辺に調剤薬局等はありません。今後、薬剤師会や県と協議して、周辺及び各所に調剤薬局が開設されるよう働きかけていきたい思います。

環境

不法投棄防止の強化策を

(林晴道議員)

Q 産業廃棄物等の不法投棄の現状と、今後、一切の不法投棄をさせないための強化策が必要と考えますが、お伺いします。



道路脇に不法投棄されたごみ

A 現在把握している産業廃棄物の不法投棄箇所は61

か所で、全体量の推計は約41万4,000トンです。近年の傾向としては、小規模でゲリラ的な不法投棄が絶えない状況です。地域的な取り組みとして、県、市、地元警察、消防等で合同パトロールを実施し、不法投棄の防止に努めています。

今後さらにも不法投棄撲滅に向けて努力していきます。

インフラ整備

事業費と費用対効果は

(有田恵子議員)



工事が進む三川蛇園線

Q 三川蛇園道路と蛇園南地区流末排水整備事業について、各事業の費用、費用対効果についてお尋ねします。

A 飯岡海上連絡道三川蛇園線は25億5,900万円、蛇園南地区流末排水路整備事業は19億600万円を予定しています。

費用対効果について、トンネルの概算工事費が約17億円と高額であるため、トンネルの断面を縮小した概算工事費をJRに算出してもらったところ、約14億円との回答を得ました。トンネル断面を縮小することに伴う交差点の再協議を調えた上で工事費を再積算するため、現時点では費用対効果の算出はできない状況です。



太田 将範
議員

- 1 食彩の宿いおか荘について
- 2 介護保険について
- 3 子ども・子育て支援事業について
- 4 病院事業について



伊藤 保
議員

- 1 平成27年度予算編成について
- 2 平成27年度予算で実施する施策について
- 3 国の方針で旭市が実施する予定の施策について
- 4 水道料金について

- 4 行政改革アクションプランについて
- 5 敬老大会について
- 6 道の駅について
- 7 旭中央病院について
- 8 袋公園用地売買契約について
- 9 避難道路整備について
- 10 産業まつりについて

道の駅

赤字が出た場合の責任は

(有田恵子議員)

Q 一般的に株式会社であれば、赤字が出たら社長が身を切ります。赤字が出た場合、市民の税金は使っていただかないことを確約してほしいという

ことと、責任のとり方をお伺いしたい。

A 赤字になった場合には、経営責任は第三セクターにあります。第三セクターの経営に伴う収入をもって充てることとが適当でない経費、例えばトイレとか駐車場部分が、経営に伴う収入のみをもって充てることとが客観的に困難と認められるケースについては、地方公共団体が公的資金を投入すること



道の駅完成イメージ図

予算

市長の基本姿勢は

(伊藤保議員)

Q 自主財源の少ない中、復興に向けた事業、新市計画事業など、市民が安心して生活できる旭市へと、市政運営をしていかねばなりません。

新年度予算編成における市長の基本姿勢について伺います。

A 旭市総合計画をはじめ各種主要計画に掲げる諸施策を着実に実施するとともに、合理化を図りながら、将来に向けてより効率的で健全な財政運営を進めるために、次の四つの基本的な考えに基づき予算編成を行ってまいります。

一つ目は、被災者の生活再建、地域経済の再興、都市基盤の再生、災害に強い地域づくり及び復興支援事業等の着実な推進。二つ目は、産業の活性化と市の魅力を高める道の駅施設を整備するとともに、定住促進や子育て世代への支援など人口減少

やむを得ないと、国からも指針が出ています。

水道

水道料金の見直しを

(伊藤保議員)

Q 水道代が高いとあちこちで聞きますが、近隣市町

対策に関する積極的な取り組み。三つ目は、旭市総合計画・後期基本計画の六つの基本方針に掲げる諸施策の計画的な実施。四つ目は、行政改革アクションプランに掲げる課題に対し、事務事業評価や事務事業優先度評価等の結果を踏まえ、予算編成をしていきたい。



海上地区にある配水池



木内 欽市
議員

- 1 地区懇談会について
- 2 防災対策について
- 3 上水道の整備について
- 4 国土強靱化地域計画について
- 5 旧いおか荘について
- 6 農業問題について
- 7 コンサルタントの外部委託について



滑川 公英
議員

- 1 産業政策について
- 2 新庁舎建設について
- 3 地方創生と国土強靱化地域計画について



伊藤 房代
議員

- 1 地域サポート事業について
- 2 産後ケア体制の支援強化について
- 3 自転車の交通安全マナーについて
- 4 J R 旭駅の駐車場の設置について

の水道料金について伺います。

また、現在6億8,200万

円留保されているということですが、公営企業ですので、留保をどんどんしていくというのは、何か目的があっているのか。

A 近隣市町の料金について、2か月20立方メートル

の基本料金で、銚子市が3,585円、東庄町が4,536円、香取市が4,536円、匝瑳市が4,449円、旭市は5,184円です。

水道が順調に市内全域に回るようにする計画の中で、海上の配水池を工事するにしても5億4,000万円かかりますので、留保資金は、これからの整備、維持管理費に充てていきたいということことです。

福祉

施設入所の制限の可能性は

(太田将範議員)

Q 介護保険について、要介護1・2の認定者の施設入所の制限ということがこれから出てくる可能性があります。

これについてどう考えているのか伺います。

A 新たに施設入所される方については、原則要介護

3以上に制限することになりますが、やむを得ない事情により在宅での生活が著しく困難であると認められた場合には、市町村の適切な関与のもと施設ごとに設置している入所判定委員会を経て、特例的に施設入所が認められます。

出産・産後ケアの充実を

(伊藤房代議員)

Q 出産直後の母子の心身をサポートする産後ケアの取り組みが注目されています。

出産に当たり、助産師などが付添って授乳指導や育児相談を行うなど、心強い存在が必要ではないでしょうか。

また、先進地事例で、産後4か月未満の母子を対象に、母体ケア、乳児ケア、育児相談指導などを行っております。また、ショートステイ、宿泊、デイケア、日帰りで利用もできます。旭市として、今後どのようにお考えでしょうか。



保健センターで開催している育児相談

認知症疾患医療センターとは

(高橋秀典議員)

Q 認知症になっても、住み慣れた地域での生活をできる限り続けていくためには、医療・介護、生活支援といったサービスが連携していく必要があると思います。新たな取り組みとして認知症疾患医療センターが設立される予定だということですが、その内容について伺います。

A 認知症疾患医療センターは、認知症患者の方やその家族の方々の支援の一つとして、進行予防から地域生活の維持まで、必要な医療を提供できる機能体制の構築を図るもので、中央病院は来年度より県内7番目のセンターとして指定されることになりました。

指定後は、地域の認知症サポート医、かかりつけ医、各市町村の地域包括支援センターから患者さんが紹介され、これらの機関に対して専門的医療の提供や、認知症に関する研修会の開催などを実施し、連携強化を図っていきます。



高橋 秀典
議員

- 1 平成27年度予算について
- 2 認知症について
- 3 地域医療連携について

高齢者の見守りを

(高橋秀典議員)

Q 高齢者見守りネットワークについて、民間事業者の協力を得て地域との連携を取るということですが、どのような事業者に協力を要請するのかなど、事業内容について伺います。

A 事業活動を通じて高齢者と接することの多い民間業者、具体的には郵便事業者や新聞・牛乳販売店や電気・ガス・水道事業者並びに生協等と旭市が連携することにより、異変があり何らかの支援を必要としている高齢者を早期に見出し、必要な支援を行います。地域全体で高齢者を見守る体制を構築し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する事業で、平成27年4月の事業開始をめざし準備を進めています。

地区懇談会

意見、要望の反映は

(木内欽市議員)

Q 市長と執行部が直接市民と話し合う場として、毎年各地区で地区懇談会が開催されています。そこで出された市民の意見・要望は、市政にどのように反映させているのか。

また、ビデオを1時間ほど見て、せっかく質問しても、だいたい2回目で時間だからと打ち切られてしまいます。そういう点は改善をお考えいただけませんか。

A 提案をいただいた意見・要望については、その場で即答や、すぐに対応可能なも



地区懇談会の様子

の以外は、庁内において検討することとなります。その場合、企画政策課において進展の状況を調査し、過去のものを含め内容の把握に努めているところで

す。
また、今後は時間調整をして、市の説明をある程度明確に簡略化した中で、なるべく市民の方々からご意見をいただくよう検討していきます。

防災

車での避難訓練を

(木内欽市議員)

Q 12メートルの大津波が来た場合にどうするのか。

大都会と違い車で逃げれる地区なので、ほとんど車での避難訓練もやっていただきたいです。

A 千葉県地域防災計画では、地震が発生し、津波警報が発令された場合、自家用車での避難の自粛を定めています。しかし、身体障害者や高齢者の方のことを考えますと、徒歩での避難は非常に困難であり、車を利用した避難を考えざるを



昨年の津波避難訓練での徒歩避難

得ず、社会的弱者に配慮した車での避難訓練を検討することも必要であろうと考えています。

旧いおか荘

選定委員会とは

(太田将範議員)

Q 貸付先の候補者募集要項によれば、選定委員会が申請者について書類審査及び申請者からプレゼンテーションに

よる提案を受けることになっています。この選定委員会というのはどのような方々が委員になっている、こういった形で候補者を選定するのか伺います。

A 選定委員については、資金繰り、資金計画が見ら

れる方、観光に携わる方、場合によっては漁業組合の方にも選定の中に入っていたきたいと考えています。いいおか荘を本当に大事に思っていたらいてい

に就任をお願いしたいと考えています。また、契約についても顧問弁護士にご教授いただきたいと考えています。

交通

旭駅前 駐車場の整備を

(伊藤房代議員)

Q JR旭駅から通勤や出かけるために旭駅まで車で来る人が増えています。近隣に車の駐車場がなく不便だとのこと

です。少しでも空き地があれば、有料でも駐車場の設置場所が確保できないか質問いたします。

Q 飯岡地域発展のために速やかで慎重な契約をお願いしたいのですが、いいおか荘の貸付先については、選定委員会に財務諸表等が分かる専門家は入れないのか。また、契約についてもプロのアドバイスを受けるつもりはないのか。

(滑川公英議員)

A 今回3回目ということで、契約については万全を期したいということで、選定委員

には、市内の金融団の代表の方

A 駅前にも民間のコインパーキングなどが設置されないのは、採算の面で厳しいからでないかと推察されます。仮に市が設置するとしても、駅前には駐車場用地となる公有地がなく、また、整備工事費や維持管理等が必要となってまいります。そういった状況を考えますと、市としては難しい状況であります。

常任委員会の審査

建設経済常任委員会

12月11日(木)午前10時より、本委員会が開催され、付託された1議案の審査を行いました。

議案第1号平成26年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「水田農業構造改革推進事業について、主食用米での取組が155ha、多収性専用品種の取組が55haとのことだが、それぞれの収穫量はどのくらいか。」との質疑では、「主食用米品種が930トンで1万5,500俵、多収性専用品種が396トン、6,600俵となっている。」との答弁がありました。「家畜伝染病予防事業補助金について、流行性下痢(PED)関連に使用することのことがだがその具体的な内容は。」との質疑では、「予防用として、逆性石鹼製剤18リットル入りを50個、車両のタイヤ用消毒マット6セットを購入する予定である。」との答弁がありました。審査の結果、全員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

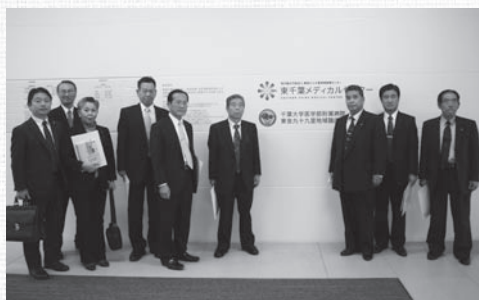


建設経済常任委員会審査の様子

文教福祉常任委員会

12月12日(金)午前10時より、本委員会が開催され、付託された3議案の審査を行いました。

議案第1号平成26年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「障害者福祉費の地域生活支援事業について、それぞれの事業の利用者数と日中一時支援事業の利用時間はどのくらいか。」との質疑では、「移動支援事業の利用者数は、月平均48・3人、日中一時支援事業の利用者数は、月平均41人、利用時間は月平均201時間となっております。利用者数、利用時間とも増加している。」との答弁がありました。



東千葉メディカルセンターを視察する
文教福祉常任委員

その他の議案についても慎重審査の結果、3議案とも、全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員会の審査終了後、東金市の東千葉メディカルセンターなどを視察しました。

総務常任委員会

12月15日(月)午前10時より本委員会が開催され、付託された7議案の審査を行いました。

議案第7号旭市営住宅の設置及び管理に関する条例の制定についての審査では「市営住宅について、今回、5戸を廃止し、解体撤去することのことだが、その費用はどのくらいか、また、解体した後の跡地はどのようなものか。」との質疑では、「解体費用は、528万円を見込んでいます。跡地については、まだ、住宅が残っているので、ある程度まとまった空き地ができたらか売却を考えている。」との答弁がありました。

その他の議案についても慎重審査の結果、議案第2号、議案第3号、議案第4号は、賛成多数で、そのほかの議案については、全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決、承認すべきものと決しました。

委員会の審査終了後、成田市役所の庁舎を視察しました。



総務常任委員会審査の様子

行政視察報告

建設経済常任委員会

10月15日から17日までの3日間、青森県八戸市、十和田市などを視察しました。

八戸市では、中心市街地活性化について、視察を行いました。中心市街地の活性化を図るべ

く、平成20年に中心市街地活性化法に基づく、第1期八戸市中心市街地活性化基本計画を策定し、総額約42億円の八戸ポータルミュージアム「はっち」を整備するなど、官民が一体となつて活性化を推進した結果、中心市街地への人の流れが回復傾向

にあります。

次に、十和田市のとわだ産品推進戦略事業について、報告いたします。

農畜産物のブランドを確立するため、新商品の設計・開発を支援する事業や日本野菜ソムリエ協会との連携事業、南関東の58店舗で行った市長によるトップセールス販路拡大事業などの施策を展開し、着実にその成果が現れてきているとのことでした。

総務常任委員会

10月1日から3日までの3日間、大分県別府市、佐伯市などを行政視察しました。

別府市では、泉都ツーリズム支援事業について、視察を行いました。

自主的に組織されたまちづくり団体が、独自性・地域性を発揮し、各分野で取り組むまちづくりを支援する事業です。これまでの11年間で222事業が採択され5,460万円の補助金が交付されています。

次に、佐伯市の新庁舎建設について、報告します。

平成22年3月に新庁舎建設基本構想を策定し、平成24年4月着工、平成26年1月に新庁舎が完成しました。

鉄筋コンクリートの7階建てで、災害時における防災拠点として免震構造を取り入れ、津波などの被害を想定し、災害対策本部、電算室、電気室などは、上階に配置されています。



泉都ツーリズム支援事業の説明を受ける総務常任委員会

議会運営委員会

11月12日から14日の3日間、徳島県小松島市と兵庫県小野市などを行政視察しました。

12日の小松島市は、議会活性化に向けた取り組みとして、議会基本条例の制定や議員政治倫理条例などを制定し、開かれた議会として傍聴や議会報告に力を入れていました。

全員協議会では、タブレット端末、iPadを導入し、議場や委員会に持ち込み可能とし、

会議録、議案書などをペーパーレス化していました。

兵庫県小野市も、議会基本条例の制定や議員政治倫理条例などを制定しております。

議場に大型ディスプレイ装置を配置し、傍聴席の改修など、傍聴人が増えるよう対策をしております。

議員の質の向上や情報収集に役立つように議員全員にデスクトップ型パソコンを配備していました。



小松島市議会の取り組みを視察した議会運営委員会

八戸市の中心市街地活性化について視察した建設経済常任委員会



議長

のうごき

平成26年9月3日以降
の議長のうごき

〔9月〕

- 特別養護老人ホームやすらぎ園第33回敬老会
- 平成26年度旭市敬老大会
- 市内小中学校運動会
- 経営体育成基盤整備事業飯岡西部地区起工式



集団防犯パトロール出発式

- すこやかクラブ旭グラウンドゴルフ大会
- 旭市立飯岡中学校校舎改築工事起工式
- 第9回あさひのまつり
- 〔10月〕
- あさひ学友会第21回定期総会
- 干潟町中央保育園運動会
- うなかも幼稚園運動会
- 平成26年9月東総地区広域市町村圏事務組合議会定例会
- 第76回全国都市問題会議
- あさひこひつじ幼稚園秋季運動会
- 旭市復興支援第5回旭市民体育祭
- 平成26年10月東総広域水道企業団議会定例会
- 第180回千葉県市議会議長会定例総会
- 平成26年度海匠農業・農村活性化フォーラム
- 剖検御協力者追悼式
- 第6回向太陽杯パークゴルフ大会
- 千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修会
- 千葉県食肉公社畜霊祭
- 佐倉市制施行60周年記念式典
- 多古町町村合併60周年記念式典
- 第25回旭市秋のへら鮎釣り大会表彰式
- 旭中央病院附属看護専門学校戴帽式
- おたっしや会
- 〔11月〕
- 成田市制施行60周年記念式典
- 習志野市制施行60周年記念式典
- 平成26年度旭市合同金婚式
- いきいき旭・産業まつり／ふるさとまつり・ひかた
- 長熊釣堀センター秋のヘラブナ釣大会表彰式
- 第64回旭市菊花大会表彰式
- 旭市青少年意見発表大会
- 第5回干潟学区・絆をつくらうスポーツ大会
- 東金市制施行60周年記念式典
- 旭市道の駅建設工事起工式
- 旭市生涯学習フェスティバル文化講演会
- 千葉県グラウンドゴルフ協会主管・東総大会
- 受賞者を称える会
- 集団防犯パトロール出発式
- 旭市都市計画審議会委員任命書交付及び会議
- すこやかクラブ旭パークゴルフ大会
- 旭中央病院附属看護専門学校創立50周年記念式典
- 海上産業まつり

議会を傍聴しませんか

平成27年第1回定例会が2月27日から行われます。

議会開会中は、議会を傍聴することが出来ます。希望される方は、市役所3階までおいでください。

なお、市役所本庁と各支所ロビー、海上・干潟公民館、飯岡福祉センター、総合体育館のテレビで、本会議の様子は放映しています。

また、市ホームページでは議会ライブ中継及び議事録の公開をしています。

さらに、議会録画中継(本会議)も日程終了後のおおむね7日程度で視聴することが出来ますので、ぜひご利用ください。

詳しくは議会事務局へ

☎ 62・5304
FAX 62・5384

編集後記

新年を迎えたと思ったら、月日の経つのは早く、もう春を迎えます。寒く辛い日々、草木はつぼみで寒さに耐え、もうすぐ力強く、芽吹きが始まり、花が咲き誇ります。

「冬は必ず春となる」の言葉がありますが、人の一生は辛い日々ばかりではない、必ず春のような時がくる、という意味だと思っています。

つい先日、編集委員会のメンバーになったと思っておりましたら、すでに一年を過ぎました。わかりやすく伝えるにはどうしたらいいのか、メンバーも苦慮しているところです。皆様に親しんでもらえる編集をしてまいります。

今年は、「食彩の宿いおか荘」の夏季の営業を目指して、また、秋には道の駅が営業を開始します。旭市の未来に、希望に満ちた一年になるよう、議会でも努力してまいります。(委員長 伊藤 保)

旭市議会だより編集委員会

委員長 伊藤 保
副委員長 高橋 秀典
委員 有田 恵子
委員 林 晴道